

平成16年 4 / 29 (みどりの日) **旗上げ!** 只今会員37名

昨年11月から今年2月まで鳴子町が月1回開いた「なるこツーリズム講座」を通して、「現代の旅事情」「これからの観光の行方」「農山村生活の価値再発見」等々について学び合いました。(延160名受講)鳴子で生活しながら、日頃一緒になる機会の少ない人達と同じテーブルについたことで、ここ(鳴子)で様々な交流のできるまちを、それぞれの分野で追い求めていることを再認識したり、お迎えした講師陣からは「もっと滞在したい魅力のある温泉地をめざして!」「鳴子に行けば 宮城に 東北に会える...そんな演出のできるまちをめざして!」等々多くのエールを送られました。

今、鳴子のまちのあちらこちらで“いい動き”が生まれています。その動きに更に磨きをかけ、もう一步先を見据えた風格ある観光地づくり「鳴子スタイル」をめざして既存のワクにとらわれることなく集い、共に学び、共に汗をかいていきたいとの思いから発足しました。いつでも、誰でも入会できます。条件は“鳴子に寄せる熱き思い”だけです。どうぞよろしくお願ひします。

鳴子ツーリズム研究会スピリット

1. 片思いから両思いの交流へ

せっかくいい汗を流していても、客観的にみると一方通行になってしまう傾向にあります。旅する人も迎える人も価値観を共有できる地域づくりをめざそう。

町内各地・各分野、都市 農山村、世界各地 鳴子

2. いつでも、どこからでもリンクできるネットワークを 旬な情報を共有しながら、きめ細かな旅のメニューを ひとりでも多くのお客様にお届けしよう。

3. 脱・くれない族

してくれないと言っても何も始まりません。
まずは自分たちが時間も、知恵も、お金も出しあって、
できるだけ自前でいこう。

4. シンクタンクからドウタンクへ

評論はもう結構。 計画 行動 反省を共にしよう。

5. 論をぶつけ合い、いいところはどんどん支援しよう。 他から見たら鳴子はひとつです。

役員名簿

会 長：後 藤 錦 信

副 会 長：大 沼 伸 治

事 務 局 長：板 垣 幸 寿

事 務 局 次 長：上 野 健 夫

監 事：菊 地 英 文

監 事：高 橋 信 宏

ご案内

鳴子ツーリズム研究会 設立記念セミナー

日 時 平成16年6月1日(火)午後7時～9時
場 所 鳴子町ヘルスセンター
講 師 ゆとり研究所長、NPOスローライフジャパン事務局長

野 口 智 子 氏

鳴子町商工会が窓口として立ち上げた一店逸品運動、鳴子温泉でっペクラブ、ほっとサロンは、今や鳴子のまちづくりの顔のひとつですが、その仕掛人の先生です。静岡市在住。

テーマ 「スローライフって な～に？」
講演後、「私たちのスローライフ活動を語ろう」と題した、グループワークを予定しています。お楽しみに。

参加費 無 料(但し、ツーリズム研究会員は年会費2千円持参を)

主 催 鳴子温泉でっペクラブ、鳴子ツーリズム研究会

後 援(予定)鳴子町商工会、鳴子町観光協会

News

第2回全国グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会
11月21日(日)～22日(月)開催!!

今年2月、熊本県水俣市で第1回全国大会が開かれ、全国各地から600名を超す参加者が集い、これからのグリーン・ツーリズムについて学び合いました。鳴子からも4名が参加、主催者のひとり 東洋大学社会学部教授 青木辰司 氏の強い薦めもあり、今年度第2回大会を鳴子町で開催することとなりました。町としても、町制施行50周年記念事業のひとつと位置づけてくれ、役場観光農林課を主管課とし、町内外関係機関と連携しながら、来たる6月1日大会実行委員会を設置し、東北らしい・宮城らしい・鳴子らしい内容の充実した大会へ向け、受入れ準備がスタートします。関心のある方、気軽にお声掛けください。

問い合わせ：鳴子ツーリズム研究会事務局、もしくは鳴子町観光農林課(0229-82-2026)

5月23日(日) “田植え湯治” ～田植えをして、のんびり湯治をしませんか～
東鳴子の中央公民館前に 9時集合、参加費千円おにぎりとお風呂付き
汚れてもいい格好で、持ちものはタオル・長靴・着替え・楽しむココロ!
お問い合わせ：旅館大沼 湯守 大沼伸治まで(0229-83-3052)

5月25日(火) 第3回日本温泉地域学会で、大沼伸治副会長が事例発表「現代版湯治!!」
(大分県湯布院町)

6月 5日(土) 宮城大学事業構想学部の課外授業で、宮原先生と学生30人来町交流
中山平日曜山村学校の取組み&街を歩けば下駄も鳴子を体験研修します。

6月 7日(月) みやぎグリーン・ツーリズムシンポジウム&みやぎ食・味・技の体験交流会
民俗研究家 結城登美雄氏の講演や、県内農漁家レストランの食交流
鳴子町からは、やまが旬の市のミズ料理、鳴子の風、雪渡り友酔が登場
町で貸切バスを用意すること、時間は出発9:30～帰り21:00予定
参加費は3千円(交流会の夕食代)
参加希望者は、5月20日まで町観光農林課(0229-82-2026)へ申込み
(当日の行程は参加希望者に連絡有り)